

⚠ 注意

- 組立てる前に、必ずこの取扱説明書をよく読み「組立て方」に従って正しく組立ててください。
- 組立てる前に、部品が揃っているか確認してください。
- 組立てる時に、部品などを幼児や子供の手の届く場所に放置しないでください。
- 組立てる時に、部品の端部などで指を挟んだり、指をはさまないように充分注意してください。
- 部品に破損や不具合などがある場合は、そのまま使用せず、弊社お客様相談室まで連絡してください。
- 組立ては、水平で平らな場所で行なってください。また、床面がキズつけないようにダンボールなどを敷いて行なってください。
- 電動ドライバーなど電動工具の使用はお止めください。
- 設置する場所の近くで組立てることをおすすめします。
- 本製品は、2人以上で組立てることをおすすめします。

- 本製品は屋内専用です。屋外での使用はお止めください。また本来の用途以外での使用はお止めください。
- 各部がしっかり組立てられていることを確認した上で使用してください。組立てが不十分なまま使用すると非常に危険です。
- 水平でない場所・段差のある場所・不安定な場所での使用はお止めください。
- ストーブなど熱機器や火気のそばでの使用はお止めください。生地などに引火して火災の原因になります。
- こたつ内での使用はお止めください。火傷や火災の原因になります。
- 高温多湿な場所での使用はお止めください。
- 直射日光など紫外線があたる場所での使用はお止めください。
- フローリングなどキズが付きやすい床面で使用する場合、敷物などを敷いて床面を保護してください。
- Pタイルなど硬質で滑りやすい床面では、滑らないように軟らかい敷物などを敷いてから使用してください。
- じゅうたんの上や畳などやわらかい床では荷重でずんだり、設置する場所によってはへこみや跡がつくことがあります。そのような場合は、敷物や当て板を敷いて使用してください。
- クッションフロア材（塩化ビニル樹脂）の上で使用する場合、環境（長時間同じ場所での固定・紫外線のあたる場所・温度の高い場所）などによっては、色移り（移行）現象によりクッションフロア材の表面が変色する場合があります。
- 乳幼児のベッド代わりでの使用はお止めください。
- 本製品で仮眠をとったり睡眠をとるようなことはお止めください。
- 座面の上に立上ったり、踏み台としての使用はお止めください。特に幼児や子供には注意してください。
- 背もたれに、勢いよくもたれかからないでください。転倒する原因になります。
- 可動部の隙間に指を入れないでください。挟まれてけがの原因になります。
- 座面以外の所や座面前縁などには座らないでください。転倒する原因になります。
- 素肌や衣類などが濡れた状態での使用はお止めください。シミ・汚れ・劣化の原因になります。
- 持上げて移動する時は、構造上脚の部分が落下する恐れがあるので必ず脚から持上げてください。また一人で無理な場合は二人で持上げてください。
- 本製品に使用している張り材は、温度・湿度・紫外線・汗などの環境の変化により長期間の使用において劣化・摩耗することがあります。ご了承ください。
- 本製品の特性上、使い始めににおいがする場合があります。時間の経過とともに軽減しますが、気になる場合は部屋の換気をしたり、風通しの良いところに置いてください。
- 使用中に、破損・変形・異音が生じた場合はただちに使用をお止めください。

- 定期的に各部がゆるんでいないか点検してください。
- 汚れた場合は、乾いたやわらかい布で拭いてください。また、汚れがひどい時は、やわらかい布に薄めた中性洗剤をしみ込ませ、それを固くしぼったもので汚れを落としてください。その後、もう一度乾いたやわらかい布で拭いて水分を取り除いてください。
- ベンジン・シンナー・アルコール・磨き粉などの使用はお止めください。表面のはがれや変色の原因になります。また、化学雑巾やクリーナーなど化学薬品を含むものを使用する時は、その注意書きに従ってください。

本製品は、ねじを用いて連結している商品です。使用を続けてゆく中でゆるみが発生する場合があります。ゆるみが発生している状態で使用していると、連結部がおれたりはずれたりする原因になります。安全に使用していただくために、定期的な締め直しをお願いします。



DOSHISHA

ワークチェア トイス	取扱説明書
-------------------	--------------

取扱説明書

この度は、弊社製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をお読みください。尚、お読みになられた後もいつでも見られるように大切に保存してください。

品 番	組立てサイズ(cm)			座面のサイズ(cm)			耐荷重(kg)※
	幅	奥 行	高 さ	幅	奥 行	座面高	
WCM	(約)57	(約)60	(約)87~96.5	(約)48	(約)46	(約)41~50.5	90

※本製品の耐荷重は測定値であり保証する値ではありません。

內容明細	
------	--

内容物を下記の明細に照らし合わせて、組立てる前にご確認ください。

部品名	背	座	座受金具	シリンダーカバー	シリンダー	脚	キャスター
部品図							
数 量	1	1	1	1	1	1	5

部品名	ねじA	ねじB	ワッシャー	六角レンチ
部品図				 付属の工具は組立て後も 点検のために使用します。 大切に保管してください。
数 量	4(+予備1)	4(+予備1)	4(+予備1)	1

組立てのポイント

最初に**全てのねじを仮締め**してから**最後に全てのねじをしっかりと締める。**

ねじを7~8割ぐらい仮締める。

仮締め

➡

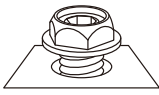
ねじをしっかりと締める。

しっかりと締める

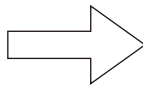
※ねじを最初からきつく締めると、他のねじの位置が合わなくなり、組立てができなくなります。また、全体がゆがむ原因にもなるため、最初はねじを仮締めにして、最後に全てのねじをしっかりと締めるようにしてください。

最初に**全てのねじを仮締め**してから**最後に全てのねじをしっかりと締める**。

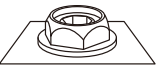
ねじを7~8割ぐらい
仮締めする。



仮締め



ねじをしっかり
締める。



しっかり締める

※ねじを最初からきつく締めると、他のねじの位置が
合わなくなり、組立てができなくなります。また、全
体がゆがむ原因にもなるため、最初はねじを仮締め
めにして、最後に全てのねじをしっかりと締めるよう
にしてください。

 電動ドライバーなど、電動工具の使用はお止めください。

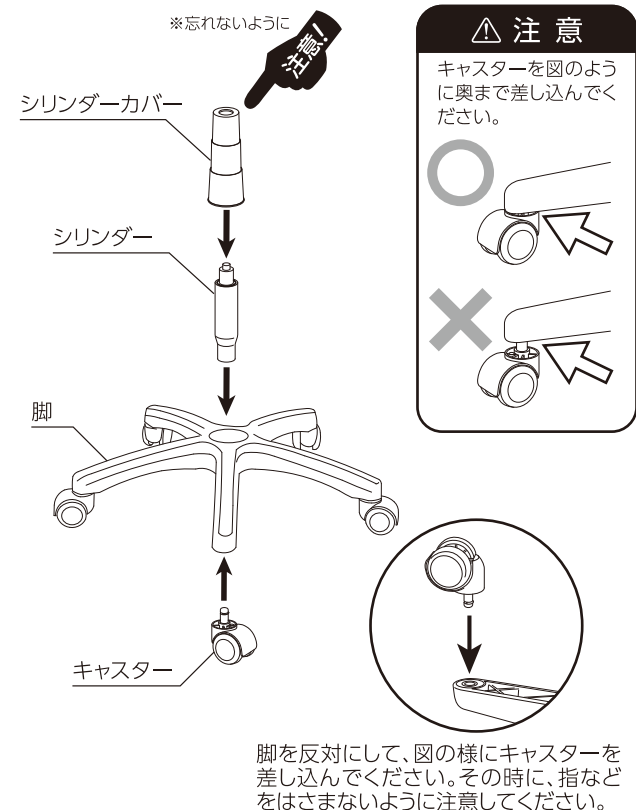
 部品の変形や破損の原因になります。組立てる時やねじの締め直しをする時は、

 **必ず手動の工具を使用してください。**



1 脚部の組立て

図のように脚を組立てます。



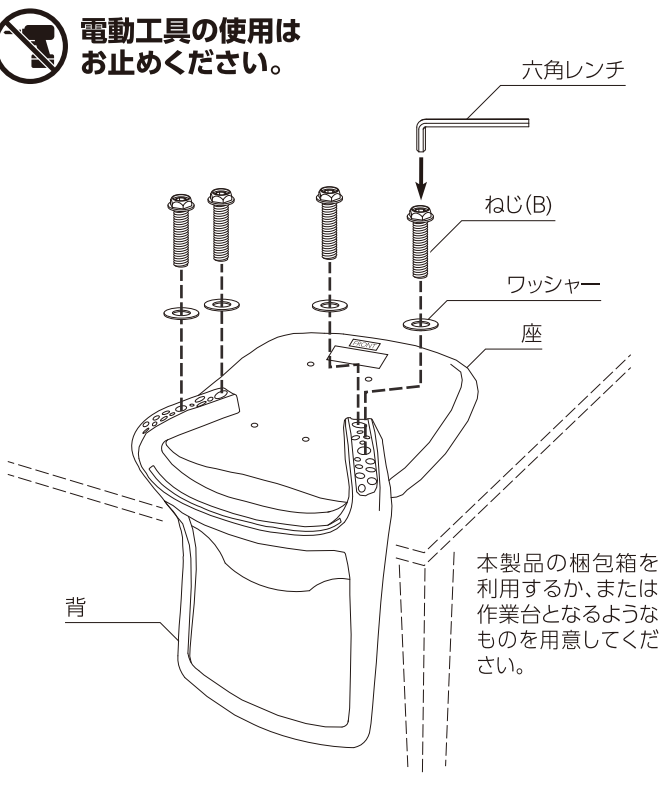
4 座部と脚部の取付け

1で組立てた脚部に、**2**～**3**で組立てた座部を取付けます。座受金具の穴にシリンダーをまっすぐ差込みます。



2 背の取付け

座の裏側に背をワッシャーとねじ(B)で仮留めします。最後に仮留めした全てのねじをしっかりと締めます。



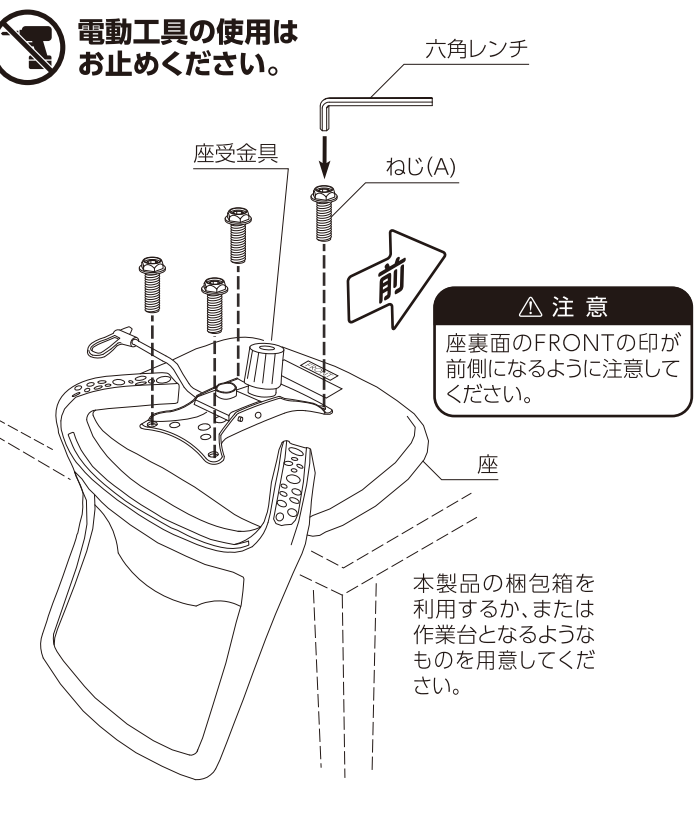
5 完成

全ての組立てが終わりましたら、組立てた部分に緩みがないか確認します。緩みがあればしっかりと締めます。その後、座ってゆっくり体重をかけてください。チェア全体が固定されます。



3 座受金具の取付け

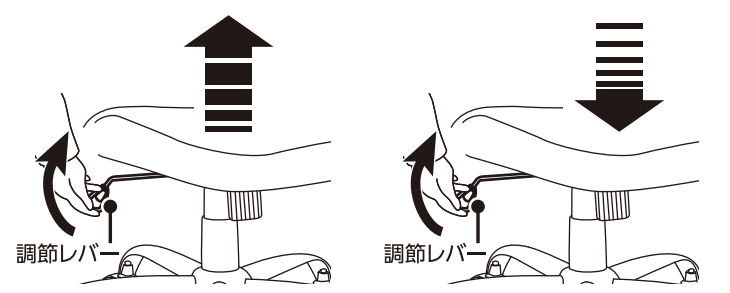
座の裏側に座受金具をねじ(A)で仮留めします。最後に仮留めした全てのねじをしっかりと締めます。



座面の高さの調節

座面を上げる時 座面を下げる時

少し腰を浮かせて、調節レバーを上引き上げます。 座った状態で、調節レバーを上引き上げます。



座面を上げる時も、下げる時も、調節レバーは常に上に引き上げます。

- 座面の前方に座った場合には、座面が下がらないことがあります。必ず、座面の中央部に腰を下ろしてから調節レバーを操作してください。
- 最下点以外では、静座時にシート部が多少沈み、弾力のある動きをします。これは故障ではありません。

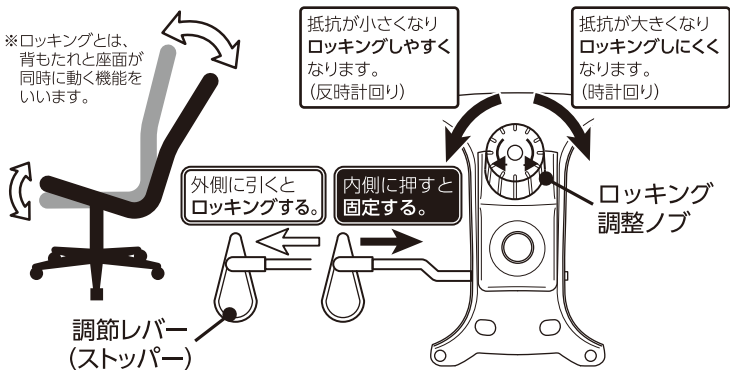
ロッキングの調節

ロッキングの調整について

座面裏側のロッキング調整ノブを回して、お好みのロッキング動作の調整ができます。※商品出荷時、調整ノブは中間位置に設定されています。

調節レバー(ストッパー)について

静座位(後ろにもたれない状態)で、調節レバー(ストッパー)を外側にひくと固定がはずれて、背もたれと座面が同時にロッキングします。



- ロッキング状態の途中では、固定できません。
- ロッキングするにあたり、通常のご使用状態では転倒する心配はありませんが、強い動作でのご使用は、転倒や破損の原因になりますのでお止めください。
- ロッキングし易い状態に調整した場合は着座、ご使用の際に後方への転倒にご注意ください。